

## 第4回応用地形判読士資格検定試験 二次試験問題

### [午後の部]

#### 実技試験の注意事項

- (1) 実技試験の実施日時は、2015年11月28日(土)の10時0分から15時0分までとする。
  - ・ 午前の部：10時0分から12時0分までの2時間。
  - ・ 午後の部：13時0分から15時0分までの2時間。
- (2) 試験開始後1時間は、退場を認めない。
- (3) 解答は、図示を求める問題に対しては[地形図](地形判読記号などを記入する[記号凡例用紙]を含む)に、記述を求める問題に対しては[マス目入り答案用紙]に、それぞれ記入すること。

**地形図(記号凡例用紙を含む)およびマス目入り答案用紙には、受験番号を必ず記入すること。**
- (4) 指定した読図範囲について、問題にしたがい読図すること。実体視できる範囲については、読図に加え空中写真判読を行うこと。

これらの結果は、その地形図に図示すること。図示するにあたり、地形種の輪郭は明確に記入すること。ただし、地形種は、地形判読記号、色、模様などにより判別できる程度としてもよい。
- (5) 地形図に記入する地形判読記号、色、模様などは、特に定めない。ただし、使用した地形判読記号などは、別に配布してある[記号凡例用紙]に記入すること。
- (6) 試験の開始にあたり、印刷の不鮮明な点がないことを確認すること。
- (7) 試験開始後は、参考書籍のほか、携帯電話など電子機器類の使用は一切禁じる。また、携帯電話など音を発生させる機器類は、必ず電源を切ること。
- (8) この注意事項の説明後は、原則として質問に応じない。
- (9) 試験終了後、この問題用紙は持ち帰ってもよい。

ただし、①地形図(記号凡例用紙を含む)、②マス目入り答案用紙、③空中写真は、机の上に残すこと。

◇ 地形図と記号凡例用紙および答案用紙には、受験番号を必ず記入すること。

《問題》

1. 地形図に実線で示した範囲について、地形図読図と空中写真判読により地形種を分類し、その結果を地形図上に図示しなさい。その際、地すべり（大規模・小規模）・活断層などに着目し、応用地形学的に特徴づけられる主要な地形種に重点をおいて図示すること。

地形分類記号などは任意に設定して、別紙の〔記号凡例用紙〕に記入しなさい。

2. 1. で行った地形判読の範囲について、次の a) と b) の質問に、マス目入り答案用紙に合計 800 字を超えないように記述しなさい。

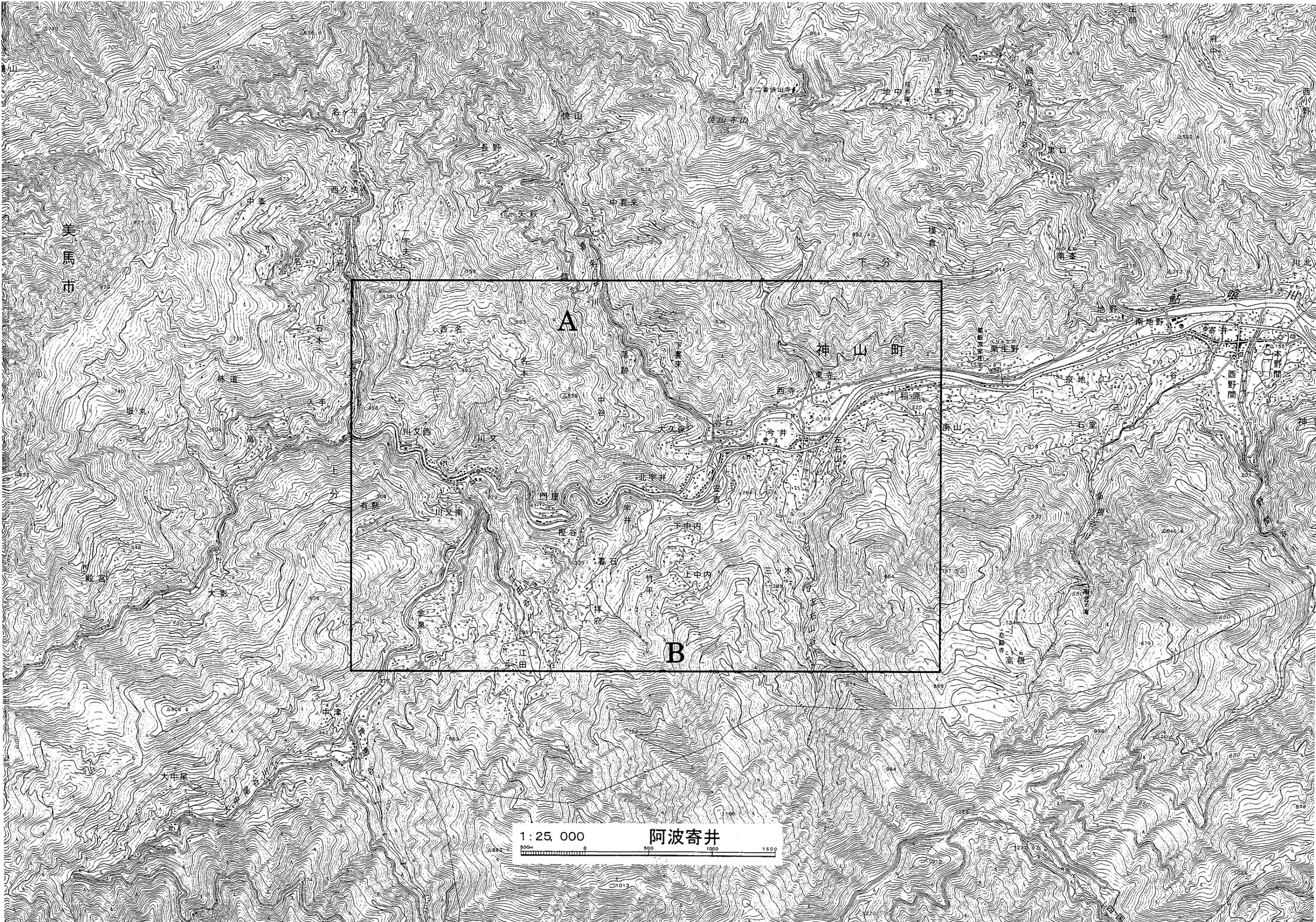
必要に応じ、地形図中の参照する地点・地域に、記号・番号などを付してもよい。

a) 鮎喰川の左岸側（地形図の A 地域）と右岸側（地形図の B 地域）それぞれの地形の特徴を説明し、その違いの原因を推定して記述せよ。

b) この地域に分布する活断層について、地形判読から推定できることと、推定した根拠を記述せよ。

<参考>

地形図 国土地理院 25,000 分の 1 地形図「阿波寄井」(平成 18 年 12 月 01 日発行)  
空中写真 整理番号：MSI-68-5Y／コース番号：C2／写真番号：11 番， 12 番



美馬市

A

神山町

B

1:25,000 阿波寄井  
500m 0 500 1000 1500